

「ピンク」のごみ袋を使うと 約900万円 藤沢市歳出〔メーカーへの支払分〕を軽減できます！

更新：2007年平成19年12月13日

藤沢市ではいよいよ9月1日から「ごみ袋」が販売されます。

家庭用には可燃・不燃共用の「ピンク」、可燃専用(カラス対策)の「イエロー」の二種類の袋が用意されていて
価格はいずれも同じですが市が袋メーカーに支払うコストは 約30%の差があることが判りました。

**イエローの代わりに「ピンク」袋を使うと約900万円の藤沢市H19年度歳出(メーカーへの支払分)を
軽減させることができますので積極的に協力しましょう**

注：イエロー袋数量をピンク袋に置き換えた場合の計算です。

市の話によると市内の一部地域から「カラス対策専用の袋が必要」との要請があったので
このイエロー袋を用意したとの事です。
一般にカラス対策として「従来のネットや容器でも代用できる」と市民に説明しているとの事です。
8月に配布予定の市ごみガイドには間に合わなかったので次回更新にはイエロー袋の「コスト」に
ついて記載を考える予定との事です。(藤沢市環境事業センター談)

このイエロー着色はメーカーがカラス対策用に開発した新技術であり藤沢市が最初の採用との
事です。

メーカーは「イエローシートは現在製品化してはいないが複数枚の袋を広げてテープで張ると
十分カラス対策になるとの事でした。(メーカー担当者 綾部氏談)

***** 参考データ *****

家庭用袋のデータ のみを抜粋	種類	大	中	小	ミニ	合計
	大きさ	40 リットル	20 リットル	10 リットル	5 リットル	
市民購入価格 (市条例)	可燃専用袋(カラス対策) イエロー	80 円	40 円	20 円	10 円	1400 万枚
	可燃・不燃共通袋 ピンク	80 円	40 円	20 円	10 円	
製造コスト (メーカー契約)	イエロー	11.84 円	7.75 円	5.67 円	4.24 円	8289 万円
	ピンク	8.57 円	5.76 円	4.35 円	3.43 円	
	コスト差(イエロー ->>> ピンク)	-3.27 円	-1.99 円	-1.32 円	-0.81 円	
総枚数 (市予測H19年度分)	イエロー	61.7 万枚	134.5 万枚	242.7 万枚	113.8 万枚	553 万枚
	ピンク	102.7 万枚	205.8 万枚	378.5 万枚	160.6 万枚	848 万枚
製造コスト合計 (除 5% 消費税)	イエロー	730.6 万円	1042.3 万円	1376.3 万円	482.5 万円	3813 万円
	ピンク	880.1 万円	1185.6 万円	1646.3 万円	550.9 万円	4476 万円
訂正： 含まれず「除」H19/2007/11/12						8289 万円
イエロー ->>> ピンク で軽減される総額		202 万円	268 万円	320 万円	92 万円	882 万円

データ出展：

業務委託単価契約書

委託者：藤沢市市長 山本捷雄

受託者：日本グリーンパックス株式会社 湘南営業所 所長 佐藤忠重

契約日：2007年平成19年4月19日

履行期間：着手期日 2007年平成19年4月19日

完了期限 2009年平成20年3月31日

流通期間：自 2007年平成19年9月01日

至 2008年平成20年3月31日

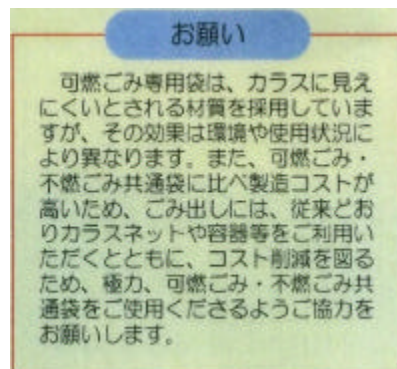
この金額は；
「メーカーへの支払額の軽減」となり
市のごみ収集・処理・処分費」に
使われます。

文責：宮崎碩文 Hmiyaz@msh.biglobe.ne.jp

発行：2007年平成19年8月04日

更新：2007年平成19年12月13日

参考：藤沢市環境部環境センター発行「ダイジェスト版「ごみ有料化ガイド」平成19年8月末配布済み



<<== 抜粋